

第3節

豊かな市民生活と元気な地域を支える

「仕事づくり」

□就労促進・起業支援

□農林畜産業等

□商工業

□観光

□定住・交流

(1) 就労促進・起業支援 ～子育ても仕事もあきらめないまち～

ア 女性の就労の促進

イ 若者・高齢者などの就労の促進

施策の概要

女性活躍推進法に基づき女性の能力を活かすことができる環境整備として、女性の「働く」を応援する女性活躍推進プラットフォーム事業による創業、起業セミナーなどを行うとともに、起業者や、女性の就労支援を行いました。

また、若者・高齢者などの就労・起業を促進するため、補助金の充実など環境整備を行いました。

施策の成果

女性及び若者・高齢者の起業を進めるとともに、女性活躍推進プラットフォーム事業の核となる施設整備を行いました。

事務事業の実施状況

■ 女性活躍推進プラットフォーム事業（子育て・女性支援部、産業環境部）

○ （新）女性就業支援施設整備事業（子育て・女性支援部）

「働く」について考える子育て中の女性や家庭と仕事の両立をめざす女性など、多様な女性の働き方を応援する拠点として、みよしまちづくりセンター1階を改修し、女性活躍推進プラットフォーム「アシスタ lab.」を開設しました。



アシスタ lab. チャレンジキッチン

○ 女性活躍推進事業（子育て・女性支援部）

女性の活躍について広く周知を図るため、平成28年度に実施した起業セミナーの受講者から実際に起業家として、はじめの一步を踏み出した女性の「働く」「起業」についての座談会を開き、広報みよしで特集しました。また、初心者向けの起業支援セミナー（託児付き）及び起業・事業ステップアップセミナーを開催しました。このほか、月1回の個別相談会を開催するなど、それぞれのステージに合わせた支援を行いました。

○ 女性・若者・シニア起業支援事業（産業環境部）

女性の社会進出と若者の活力ある社会創生、シニア層の生涯現役社会の推進による経済の活性化を図るため、新たに市内で起業する女性及び20歳以上39歳以下の若者、40歳以上のシニアの新規起業者に対し、起業に必要な経費の一部を助成する事業で、女性4件、若者5件、シニア2件の助成を行いました。



三良坂町 LALA UA (ララ ウーア)

■ みよしまちづくりセンターリニューアル事業（地域振興部）

平成7年度に建設したみよしまちづくりセンターは、建築後20年以上が経過し、外装、内装とも老朽化が進んでいました。また、女性就業支援施設の開設予定に伴い、全面リニューアル工事を実施しました。



リニューアルしたみよしまちづくりセンター

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
女性就業支援施設整備事業	32,921	起債 30,900	2,021	改修工事, 設計監理, 消耗品費, 備品購入費
女性活躍推進事業	5,116		5,116	女性起業家による座談会 3人 起業支援セミナー 11人 起業・事業セミナー 延 48人 個別相談会 延 14人 ※うち2人起業
女性・若者・シニア起業支援事業	19,400		19,400	女性起業4件, 若者起業5件, シニア起業2件
みよしまちづくりセンターリニューアル事業 《繰越明許分》	50,204	起債 47,000	3,204	外壁塗装, 屋上防水, ホール内装改修, 授乳室設置, トイレ改修など
計	107,641	77,900	29,741	

(2) 農林畜産業等 ～農業にふれたくなるまち～

ア 農林畜産業等の企業的経営の推進

イ 楽しく農畜産業等ができるまちづくり

施策の概要

農業経営基盤を強化し収益性の高い農林畜産業を推進するため、認定農業者などの育成、アスパラガスや白ねぎなどの重点品目の新規植栽などを支援し、農産物の生産振興と経営安定を図りました。

畜産経営支援のためのヘルパー利用や予防接種の助成など、畜産経営の安定化を支援するとともに、「みよし和牛」のブランド化の推進を図りました。

また、観光と一体化した農業の展開を推進するため、「(仮称)みよしアグリパーク構想」を掲げ、その実現に向けて事業を推進しました。

施策の成果

重点品目(野菜5品目・果樹3品目・花き3品目)を中心に生産拡大を図り、白ねぎ・ぶどうなどの作付面積が増加しました。

また、畜産の経営規模の拡大支援、労働時間の短縮や伝染病を予防する施策により、畜産の経営基盤の安定につなげました。

事務事業の実施状況

■ オール三次産品ブランド化事業(産業環境部)

開発・改良した産品の販売力強化、生産者・商工業者などによるネットワーク組織の継続支援を行うとともに、生産者組織「オール三次農産品ブランド開発協議会」の運営支援を行いました。

また、産品開発に係るワークショップや広島市内でのテストマーケティングを開催し、販売力の強化につなげました。



産品開発講座



テストマーケティングの様子

■ 【担い手育成・強化事業】認定農業者等育成事業(産業環境部)

農業所得の向上と経営安定を図るため、農地の利用集積により経営規模の拡大を行った法人を含む認定農業者を支援しました。

■ 【農畜産物の生産力強化事業(農産物)】麦・大豆等生産振興推進事業(産業環境部)

加工品原材料の安定供給を図るため、麦・大豆・山の芋及びカーターピーナッツの栽培の拡大を支援しました。

■ 【農畜産物の生産力強化事業（農産物）】地産地消の店認定事業（産業環境部）

地産地消を推進するため、三次産農畜産物や加工品を食材に使用した料理を提供している飲食店などを「地産地消の店」として認定し、三次産農畜産物の宣伝及び消費拡大を図りました。



地産地消の店認定プレート



美味彩々 らんや



お食事処 森新



居酒屋 坊ちゃん



米豊霧 (まいほうむ)

新規認定店

■ 【農畜産物の生産力強化事業（農産物）】グリーンアスパラガス新規植栽支援事業（産業環境部）

グリーンアスパラガスの新規植栽を促進するため、ほ場やかん水施設の整備、機械導入を支援しました。

■ 【農畜産物の生産力強化事業（農産物）】

出荷野菜・花きハウス導入・かん水施設整備事業（産業環境部）

出荷野菜や花きの生産を促進するため、ビニールハウスの導入とかん水施設の整備を支援しました。

■ 【農畜産物の生産力強化事業（農産物）】振興作物産地化推進支援事業（産業環境部）

重点品目の産地化を進めるため、白ねぎ、玉ねぎ、トマト、ほうれんそうの新規植栽、ほ場の整備などを支援しました。

■ 【農畜産物の生産力強化事業（農産物）】果樹・花き生産振興支援事業（産業環境部）

ぶどう・梨・ゆず、菊・りんどう・トルコギキョウの生産振興のため、新規植栽や規模拡大に必要なほ場の整備や、生産・出荷に必要な機械の導入を支援しました。

■ 【みよし産業応援事業】農業者等支援（産業環境部）

農家民宿開業支援事業及び6次産品化支援事業により、農業者の多角的経営の促進を図りました。6次産品化支援事業については4件の補助を行いました。

■ 【農畜産物の生産力強化事業（畜産）】（産業環境部）

和牛経営規模拡大をめざす畜産農家への支援として、飼養管理の省力化と自給飼料の確保による低コスト化を図るため、水田放牧牛の導入と条件整備への支援を行いました。

あわせて、肉用牛の改良増殖を推進し、肉質・増体などの産肉能力の向上を図り、優秀な「みよし和牛」のブランドを構築し、生産性の高い畜産経営を実現するため、畜産農家が行う優秀繁殖雌牛保留や優秀受精卵移植に対して支援を行いました。

また、三次産和牛子牛を三次市内の肥育農家が肥育することで産肉データを収集し、市内の和牛

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

繁殖雌牛の改良を促進するとともに、三次生まれ、三次育ちの「みよし和牛」の確立を図ることを目的として、和牛肥育農家に対し三次産素牛の購入に必要な経費に対して支援を行いました。

酪農経営支援として、乳用牛の家畜伝染病の発生と拡大を防ぎ、衛生的な酪農経営を確立するため、家畜伝染病の定期検査や予防接種に要する経費への支援を行うとともに、酪農家の年中無休状態の解消と労働安全衛生対策の支援として、定期的または臨時的に利用するヘルパーに要する経費に対して助成を行いました。また、酪農経営規模の拡大と経営の安定化に向け、乳用牛の増頭または更新に要する経費や牛舎の新築、生乳生産に関連する機械導入に要する経費への支援を行いました。



水田放牧の様子

■ 植物工場等整備事業（産業環境部）

三次環境クリーンセンターの余熱を有効活用した三次市植物工場（ハウス園芸施設）を整備し、平成29年度から栽培を開始しました。障害者などの就労機会の創出、農産物の安定的な生産、供給が図られました。

■ （新）（仮称）みよしアグリパーク整備事業（産業環境部）

現在整備中の備北南部農道の沿線に新たな農業公園を整備し、年間100万人を超える観光客を有する酒屋地区を拠点として、観光と一体化した農業の展開を推進するため、「（仮称）みよしアグリパーク構想」を掲げ、その実現に向けて「（仮称）みよしアグリパーク整備基本構想」を策定しました。あわせて、初期事業として検討を進めている「トレッタみよし周辺エリア」、「新たなぶどう園地」の整備について、関係者や関係機関と協議などを進めました。

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
オール三次産品ブランド化事業	1,998		1,998	オール三次農産品ブランド開発協議会 2回・会員9人 産品開発ワークショップ3回 延68人
認定農業者等育成事業	19,474	その他 19,473	1	集積面積 約177ha 28経営体 (内訳：18法人, 10個人)
麦・大豆等生産振興推進事業	9,673		9,673	作付面積 約96.73ha (38件)
地産地消の店認定事業	496		496	新規認定店 (4店舗)
グリーンアスパラガス新規植栽支援事業	3,865		3,865	申請件数 10件 新規植栽面積 70.5a
出荷野菜・花きハウス導入・かん水施設整備事業	22,689		22,689	ハウス導入・かん水施設整備 24件 新規ハウス導入面積 95.0a
振興作物産地化推進支援事業	1,557		1,557	玉ねぎ 1件, 白ねぎ 10件, ほうれんそう 4件 新規植栽面積 135.6a
果樹・花き生産振興支援事業	5,126		5,126	ぶどう 5件, 梨 1件, ゆず 3件, りんどう 2件, トルコギキョウ 3件, 菊 1件 新規植栽面積 100.2a
【みよし産業応援事業】農業者等支援	2,661		2,661	6次産品化支援事業 4件
畜産経営支援事業	5,079		5,079	和牛の里創造事業 15件 肉用牛ヘルパー利用助成 18戸 アカバネ病等予防対策事業 46件 肥育和牛導入支援事業 12頭
和牛改良推進事業	4,240		4,240	肉用牛ブランド化推進事業 優秀繁殖雌牛保留 41頭
酪農経営支援事業	9,819		9,819	酪農衛生管理促進事業 4件 酪農ヘルパー利用助成 11戸 乳用牛導入・更新促進事業 17頭 酪農飼養環境整備事業 3件
(仮称)みよしアグリパーク整備事業	6,715		6,715	基本構想策定等
計	93,392	19,473	73,919	

ウ 美しい風景を伝えるための農業

施策の概要

農村や森林のもつ環境保全機能を維持し、豊かな自然環境を次世代に引き継ぐための地域や集落などの活動を支援しました。また、有害鳥獣による農作物被害の防止や農業基盤の整備に対する支援を行いました。

施策の成果

中山間地域等直接支払制度及び多面的機能支払制度により、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮のための地域の共同活動や営農活動、農地などの保全活動を支援することにより、農業生産活動の向上が図られました。

手入れがされていない森林を整備することにより、森林のもつ公益的機能の維持が図られたほか、森林・林業の体験活動を通じて森づくりに対する理解を深めることができました。

また、有害鳥獣による農作物被害を防止するため、農業者や地域が防護柵などを設置する取組を支援し、農作物被害の低減につなげました。さらに、地域のニーズに応じた農地・農業水利施設などの整備により、生産効率を高めるとともに、担い手への農地集積を促進しました。

事務事業の実施状況

■ 中山間地域等直接支払交付金事業（産業環境部）

農業生産条件の不利な中山間地域などにおいて、集落などを単位として、農用地を維持・管理していくための取り決め（協定）を締結し、それにしたがって農業生産活動などを行う場合に、面積に応じて補助金を一定額交付しました。

■ 多面的機能支払交付金事業（産業環境部）

農業・農村の有する国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成などの多面的機能の維持・発揮を図るために地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進しました。

■ 農村環境保全事業（産業環境部）

中山間地域等直接支払制度や多面的機能支払制度により交付金を受けている地域以外の地域における農地・水路・農道・ため池などの農業施設や農村部の住環境を守る地域づくりの共同活動団体や個別の小規模農家に対し、補助金を交付しました。

■ ひろしまの森づくり事業（環境貢献林整備事業）（産業環境部）

15年以上手入れがされないまま放置された人工林について、間伐などの手入れを行うことで、森林が持つ公益的な機能を高める取組を支援しました。

■ ひろしまの森づくり事業（里山林対策）（産業環境部）

林業体験活動や手入れのされていない里山林の整備を行い、森林、林業に対する理解を深める取組を行いました。



ひろしま「山の日」県民のつどい in みよし

■ 搬出間伐体制強化支援事業（産業環境部）

搬出間伐事業における木材の安定的・効率的な供給を図るため、森林事業者（森林組合）に対し、搬出間伐に要する高性能林業機械のリース料に対する支援を行いました。

■ 有害鳥獣被害防止柵設置事業（産業環境部）

イノシシなどによる農作物被害を防止するため、農業者個人が設置する防護柵や地域または集落で一体的に設置する防護柵の資材費に対して支援しました。

■ 小規模農業基盤整備事業（産業環境部）

地域農業の振興を図るため、施設の老朽化・未改良により用水の確保が困難な地域におけるかんがい排水、老朽化して危険なため池の改修、危険度が高く緊急的なため池の整備事業を単独の補助事業を活用して行いました。

■ 農地耕作条件改善事業（産業環境部）

担い手への農地の集積・集約化を推進するため、農業水利施設の整備及び農作業道の整備を、国庫補助事業を活用して行いました。

■ 農村地域防災減災事業【野白地区】（産業環境部）

1級河川美波羅川内にある野白頭首工が老朽化により、利水・防災等河川管理に支障を来しているため測量設計・改修を行いました。

■ 農村地域防災減災事業（ため池等整備事業）（県営）（産業環境部）

耐震診断調査で、健全度が低いと判定された狩又池・湯口谷3号ため池の測量設計業務に対し、負担金を支出しました。

■ 備北南部地区広域営農団地農道整備事業（県営）（産業環境部）

2期地区の工事・測量設計・用地買収などの事業に対し、負担金を支出しました。

■ 林道整備事業（新開線・山家線・東山線）（産業環境部）

三良坂町三良坂新開・山家町地区において、橋梁補修・林道開設測量を国庫補助事業、君田町石原地区において、路面舗装工事を単県・単独事業により行いました。

■ 幹線林道比和・新庄線整備事業（県営）（産業環境部）

「君田・布野区間」の君田町茂田地区・布野町上布野明谷地区の開設工事に対し、負担金を支出しました。また、用地測量・用地補償については市単独事業として行いました。

■ 小規模崩壊地復旧事業（産業環境部）

人家の裏山のがけ崩れや侵食などによって危険となっている箇所について、山留工・山腹工などの工事を単独の補助事業により行いました。

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
中山間地域等直接 支払交付金事業	464,494	国県支出金 348,370	116,124	集落協定 244件 (440,530) 個別協定 15件 (23,964) 協定面積 3,464ha
多面的機能支払交 付金事業	220,320	国県支出金 166,136	54,184	農地維持 162件 (104,640) 協定農地 3,543ha 資源向上(共同)150件(64,764) 協定農地 3,418ha 資源向上(長寿命化)23件 (50,916) 協定農地 1,157ha
農村環境保全事業	2,800	その他 2,800		補助金 38件
ひろしまの森づく り事業(環境貢献林 整備事業)	43,997	国県支出金 42,900 その他 1,097		人工林整備面積 109.72ha
ひろしまの森づく り事業(里山林対 策)	24,998	国県支出金 24,900	98	里山林整備面積 17.59ha 体験学習活動など15回, 539人
搬出間伐体制強化 支援事業	2,095		2,095	搬出材積 3,175 m ³
有害鳥獣被害防止 柵設置事業	14,765		14,765	個人 183件 集落 15件
小規模農業基盤整 備事業	43,480	国県支出金 21,740 起債 10,800 その他 10,867	73	かんがい排水 2件 9,000 ため池緊急整備 9件 34,480
農地耕作条件改善 事業 《下段：繰越明許分》	25,000	国県支出金 16,975 起債 4,000 その他 4,013	12	事業費(三次地区) 10,000 2件(用排水路・農道舗装) 事業費(三次第2地区) 15,000 2件(農地整備・農道)
	99,800	国県支出金 69,337 起債 15,300 その他 15,137	26	事業費(三次地区) 58,000 6件(用排水路・農道舗装) 事業費(三次第2地区) 41,800 4件(農地整備・農道・用排水路)
農村地域防災減災 事業 《下段：繰越明許分》	68,000	国県支出金 65,960 起債 900 その他 1,020	120	事業費(野白) 60,000 事業費(森安) 8,000
	28,000	国県支出金 27,160 起債 300 その他 420	120	事業費(野白) 28,000

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
農村地域防災減災事業(ため池等整備事業) (県営) 《下段：繰越明許分》	1,890	起債 1,300 その他 420	170	【県営事業負担金】 負担割合：市7%，地元2% 事業費 21,000
	2,693	起債 1,800 その他 598	295	【県営事業負担金】 負担割合：市7%，地元2% 事業費 29,940
備北南部地区 広域営農団地 農道整備事業 《下段：繰越明許分》	11,950	起債 10,700	1,250	【県営事業負担金】 負担割合：10.0% 事業費 119,500 道路工・用地補償
	8,000	起債 7,600	400	【県営事業負担金】 負担割合：10.0% 事業費 80,000 測量設計
林道整備事業 (林道新開線) 《繰越明許分》	5,724		5,724	事業費 5,724 橋梁補修工事
林道整備事業 (林業専用道山家線)	18,576	国県支出金 12,074 起債 6,500	2	事業費 18,576 測量設計・開設工事
林道整備事業 (林業専用道東山線)	5,225	起債 5,000	225	事業費 5,225 測量設計・工事
幹線林道比和・新庄 線整備事業 《下段：繰越明許分》	12,877	起債 6,500 その他 46	6,331	【県営事業負担金】 負担割合：5% 県営工事費負担金 6,592 用地測量・調査費 6,285
	10,395	起債 9,200 その他 1,169	26	工事 10,395
小規模崩壊地 復旧事業 《下段：繰越明許分》	38,342	国県支出金 19,171 起債 9,500 その他 9,585	86	事業費 14件 38,342
	14,000	国県支出金 7,000 起債 3,500 その他 3,500		事業費 3件 14,000
計	1,167,421	965,295	202,126	

工 農林畜産業等に携わる人材育成

施策の概要

農業従事者の高齢化，後継者不足などが進む中，地域農業の振興と経営発展を図るため，新たな農業の担い手として従業員を雇用する集落法人などに対する支援を行いました。

また，自立した農業経営をめざす認定新規就農者の営農初期段階の機械投資などの負担軽減と早期の経営安定を図るため，機械，施設などの導入に対する支援を行いました。

施策の成果

集落法人などが，農業の担い手となる従業員を新たに6人雇用しました。また，認定新規就農者4人が事業を活用して機械を導入しました。

事務事業の実施状況

■ 【オール三次農産物振興事業】集落法人等新規雇用事業（産業環境部）

新たな農業の担い手として，新規に従業員を雇用した集落法人などの雇用に係る経費に対して支援を行いました。

■ 【オール三次農産物振興事業】新規就農者機械等導入支援事業（産業環境部）

新たな地域農業の担い手として，地域での定着を早期に実現させるため，機械や施設などの導入に係る経費に対して支援を行いました。

■ 認定新規就農者育成支援事業（産業環境部）

認定新規就農者の農業経営の早期安定化を図るため，栽培条件の整備や技術習得などの経費に対して支援を行いました。

（単位：千円）

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
集落法人等新規雇用事業	6,200	その他 6,200		集落法人等雇用者 9人
新規就農者機械等導入支援事業	1,570	その他 1,570		機械導入件数 4件
認定新規就農者育成支援事業	500	その他 500		経営継承者 2人
計	8,270	8,270		

(3) 商工業 ～みんなが働くことができるまち～

ア 商工業の活性化

施策の概要

活気のある商工業の振興のため、中小企業者の経営基盤の確立や産学官連携の推進による特色ある事業を推進しました。

施策の成果

創意工夫ビジネス支援事業や三次イノベーション会議の事業を通じて、新規事業の展開を推進しました。

また、プレミアム付商品券発行事業や、リフォーム支援事業により新たな消費が喚起されました。さらに、預託融資制度などにより中小企業の経営基盤の強化を行いました。

事務事業の実施状況

■ プレミアム付商品券発行事業（産業環境部）

消費税率引き上げ以降続く、景気・消費低迷に対する景気刺激策として、三次商工会議所及び三次広域商工会を通じて10%のプレミアムが付いた商品券50,000冊（総額5億5,000万円）を発行しました。

■ 【みよし産業応援事業】新規事業展開者支援（産業環境部）

創意工夫ビジネス支援事業、新技術・新製品開発支援事業及び地域産品開発支援事業により、特色ある新たな取組を推進しました。創意工夫ビジネス支援事業について2件の補助を行い、創意工夫のある企画に基づいた新たな事業へ支援しました。また、地域産品開発支援事業について1件の補助を行い、地域資源を活用した新たな商品開発を支援しました。

■ リフォーム支援事業（産業環境部）

建築関連工事の促進により地域経済の活性化及び市民の住環境の向上を図るため、リフォーム117件（店舗2件、住宅115件）に要する経費に対して補助を行いました。

■ 小規模事業者経営改善資金利子補給事業（産業環境部）

企業の経営の安定と発展を図るため、日本政策金融公庫の小規模事業者経営改善資金を利用した36事業者に対して利子補給金を交付し、金利負担の軽減を行いました。

■ 中小企業信用保証料補助事業（産業環境部）

中小企業者の経営の安定・発展や新規創業を支援するため、広島県信用保証協会の保証により創業融資を受けた4事業者に対して信用保証料を助成しました。

■ 中小企業融資支援制度設置事業（産業環境部）

中小企業者の経営の安定・発展を図るため、市内金融機関と提携し、預託制度により長期・低金利で利用できる融資制度を運用しました。

融資制度の新規利用は、小規模事業資金が9件、中小企業経営安定資金が13件ありました。

■ 産学官連携事業（産業環境部）

三次イノベーション会議の事業として、研究開発事業への補助、事業者と大学の研究者とのマッチング、連携の成果発表などを通じて、県立広島大学のシーズ（研究技術、成果）を生かし、事業者の新規事業への参入、新製品の開発、経営の安定などを進める取組を進めました。



第18回みよし産学官連携セミナー開催

（単位：千円）

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
プレミアム付商品券発行事業	52,827		52,827	発行額 5 億 5,000 万円
【みよし産業応援事業】 新規事業展開者支援	7,143		7,143	創意工夫ビジネス支援事業 2 件 地域産品開発支援事業 1 件
リフォーム支援事業	18,548		18,548	店舗 2 件 住宅 115 件
小規模事業者経営改善 資金利子補給事業	2,059		2,059	交付決定件数 36 件
中小企業信用保証料補助事業	228		228	創業 4 件
中小企業融資支援制度	180,085	その他 180,000	85	小規模 新規：9 件 融資額：16,920 千円 経営安定 新規：13 件 融資額：78,500 千円
産学官連携事業	1,000		1,000	産学官連携セミナー開催 1 回 何でもサロン開催 3 回 産学官連携推進事業 新規 3 件
計	261,890	180,000	81,890	

イ 雇用の確保と維持に向けた企業誘致と企業支援

施策の概要

豊かな市民生活を支えるため、安定的かつ継続的な雇用の場の確保をめざし、積極的な企業誘致活動を行いました。

また、三次工業団地第Ⅲ期分譲地が完売したため、新たな産業用地を選定し、企業を誘致するために助成制度の拡充を行いました。

施策の成果

平成21年度の分譲開始から長年の懸案事項であった、三次工業団地第Ⅲ期分譲地が完売したことにより、さらなる産業の振興と定住促進のため、新たな産業用地を選定しました。

企業留置や市内遊休地への企業誘致活動、オフィスビジネス系事業所設置奨励金のPR活動を、積極的に行いました。

事務事業の実施状況

■ 企業誘致推進事業（産業環境部）

業界のセミナーやイベントに精力的に参加し、情報収集を行いました。

また、市内遊休地、空きオフィスなどを調査しての企業誘致活動や、企業の留置を目的とした市内企業への訪問などを行いました。

■ 工場等設置奨励事業（産業環境部）

工場等設置奨励金4件、雇用奨励金2件（計18人雇用分）の交付を行いました。

また、企業の立地促進を図るため、新たな産業用地への奨励金を新設しました。

■ 新たな産業用地の確保事業（産業環境部）

新たな産業用地として、四拾貫産業用地、三良坂産業用地、東酒屋産業用地の3つを選定しました。



四拾貫産業用地



三良坂産業用地



東酒屋産業用地

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
企業誘致推進事業	2,716		2,716	市内への企業誘致 ・ 第Ⅲ期分譲地完売 ・ 遊休地 1 社の立地
工場等設置奨励事業	34,870	国県支出金 9,000	25,870	工場等設置奨励金 4 件 雇用奨励金 2 件 (計 18 人雇用)
計	37,586	9,000	28,586	

ウ 活力あるお店づくりとにぎわいの創出

施策の概要

活力とにぎわいの溢れる商店街の再生，元気なお店づくりを進めるため，空店舗の解消や，特色あるイベントの開催支援など，ハードとソフトの両面から事業の推進に努めました。

施策の成果

みよし産業応援事業の中で中小企業者支援3事業と商店街等支援1事業による補助（27件）を行い，商店街や商店などの事業展開の支援を行いました。

意欲ある商店や商店街の独自性のある取組の支援を通じて，活力あるお店づくりとにぎわいの創出を進めることができました。

事務事業の実施状況

■ 【みよし産業応援事業】中小企業者等支援（産業環境部）

積極的に事業を展開する事業者を支援して産業の活性化を図るため，販路拡大支援事業（8件），新規開業支援事業（4件）及び空店舗出店支援事業（2件）により中小企業者の支援を行いました。

■ 【みよし産業応援事業】商店街等支援（産業環境部）

商店街のにぎわいと活力あるお店づくりを進めるため，商店街等活性化支援事業（13件）により商店街などの支援を行いました。

（単位：千円）

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一 般 財 源	
【みよし産業応援事業】 中小企業者等支援	2,160		2,160	販路拡大支援事業 8件 新規開業支援事業 4件 空店舗出店支援事業 2件
【みよし産業応援事業】 商店街等支援	1,032		1,032	商店街等活性化支援事業 13件
計	3,192		3,192	

エ ものづくり・商売に携わる人材の育成と起業促進

施策の概要

産業界が必要とする人材の確保、育成を行うため、企業とのマッチングや職業訓練による人材の育成を進めました。また、女性や若者、高齢者を対象に、新たな価値を創造する新規起業者の掘り起こしと支援を行いました。

施策の成果

職業訓練委託事業により、従業員のスキルアップによる企業への支援と、資格取得などによる就職の促進を図りました。雇用労働対策協議会を中心に行った就職相談・面接会では、企業39社、就職希望者22人の参加がありました。

事務事業の実施状況

■ 雇用労働対策事業（産業環境部）

雇用労働対策協議会の活動として、就職相談・面接会の開催、企業ガイドブック及びみよし就活ニュースの発行、みよし就活ネットの運営、県内大学訪問などの事業を行いました。また、高校生キャリア育成事業として、市内高校3校の2年生を対象とした企業説明会及び企業見学を行い、将来を見据えた三次市内企業への就業と定住の促進に取り組みました。



三次市就職相談・面接会



高校生キャリア育成事業企業説明会

■ 職業訓練委託事業（産業環境部）

就職活動中の三次市民及び市内事業所の従業員を対象とし、受講料無料で委託訓練事業を行い、求職者の就業機会の拡大と市内企業の従業員のスキルアップに努めました。スキルアップや資格取得受験準備など企業や求職者などのニーズに即した30講座を開設し、281人の受講がありました。

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
雇用労働対策 事業	910		910	就職相談・面接会 参加 22 人 企業ガイドブック 印刷・配布 1,900 部 大学・短大訪問 25 校 高校生キャリア育成事業 市内高校 2 年生 339 人
職業訓練委託 事業	9,956		9,956	講座数 30 講座, 受講者 281 人
計	10,866		10,866	

(4) 観光 ～人が集まり、にぎわいがあるまち～

ア 美しく懐かしい風景と伝統を活かした魅力の向上

施策の概要

三次地区の歴史、文化、芸術などを活かして、本市の観光・交流人口の拡大、観光消費額の増加を図るとともに、三次地区の歴史、伝統及び文化に学び、継承する取組を通じて、郷土への誇りの醸成と交流による創造的な活動の活性化を図るため、美しい景観づくりに向けた三次町の歴史的な街なみ整備や三次地区の文化・観光まちづくりの核となる三次地区拠点施設の整備など、三次まるごと博物館事業に位置付く各種事業を行いました。

施策の成果

三次町の歴史的な街なみ整備の一環として、これまでに進めてきた石畳整備や電線の地中化に加え、家屋の修景整備を継続的に進めてきたことにより「趣」のある街なみ景観が形成されています。さらには、三次地区拠点施設の整備を契機とした三次地区の文化・観光まちづくりの取組により、「三次地区の文化・観光まちづくりを進める会」が発足するなど、官民が一体となったまちづくりが進められ、徐々ににぎわいが生まれてきています。

事務事業の実施状況

■ 三次町歴史的地区環境整備街路事業（建設部）

三次町の上市・太才通り、三次本通りの沿道地区（延長約 1.4 km）において、歴史的環境保全や資源の活用を通して、居住環境の向上と地域活性化を図るため、修景補助を行っています。

修景整備の補助申請が6件あり、平成12年度から行ってきた補助件数は46件となりました。これらの街なみ環境整備の取組の成果をもって、三次町歴みち協議会、三次地区自治会連合会、三次市の3者で「都市景観の日」実行委員会が主催する「都市景観大賞」に応募し、平成30年度都市景観大賞「都市空間部門」優秀賞を受賞することができました。

三次地区拠点施設の完成も控えて、三次町の石畳通りを訪れる観光客は今後、ますます増加することが予想されます。市民が誇りに感じる景観形成に向けて今後も歴史的な街なみ整備を推進していきます。



三次町歴史的街並み景観形成地区



三次地域交流館 木綿兎（もめんとう）

■ 三次地区拠点整備事業（政策部）

4月から6月に、市内全域を対象とした説明会のほか、市民の理解を深める取組を集中的に行うとともに、全国への情報発信を継続的に行いました。7月、8月、11月の計3回、「みよしものけものがり」と題した自主イベントを開催し、妖怪に関する映画、落語、講談、神楽の上演のほか、はるな愛さんらによるトークショーや妖怪資料の展示会などを行いました。さらには、6月から年4回「もののけだより」を市内全戸に配布したほか、平成30年1月からメールマガジンを開始するなど、開館に向けた機運醸成を図りました。

6月1日には、「稲生物怪録」や妖怪博物館を生かした文化や観光などの振興について議論し、「夢」や「将来像」などを共有していただくため、「三次市妖怪を生かした文化・観光推進市民委員会」を設置し、4回の委員会と3回の分科会を経て、11月20日に提言をいただきました。

7月31日には、多くの人を訪れ、楽しく交流するための取組を具体化及び展開することを目的に、「三次地区のまちづくりを考える会」から発展的に移行した「三次地区の文化・観光まちづくりを進める会」が発足し、11月から5つのプロジェクトでの本格的な活動が進んでいます。

8月には、こうした動きを受けて、平成31年春の開館をめざして建設を進めることを決定し、11月から建築工事、電気設備工事及び機械設備工事に着手しました。8月24日には、平成29年度に整備した作木収蔵室に湯本コレクションの移送を受け、資料整理に着手しました。

11月には、「2017三次こども市議会」や「三次市妖怪を生かした文化・観光推進市民委員会」の提言などを踏まえ、多世代が楽しめる施設整備の充実を図ることとし、全体事業費、来館者数及び収支計画の見直しを行いました。

12月には、展示設備などの整備を行う事業者の選考を開始し、平成30年2月に応募された2者の公開ヒアリングを行った上で受託候補者を決定しました。交流棟の飲食出店候補者についても平成30年2月から選考を開始し、3月には説明会を開催して応募を呼びかけました。

こうした取組に並行して、前年度に引き続き、「（仮称）湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）アドバイザー委員会」を計4回開催し、博物館の運営などに関する様々な事項を検討していただきました。



自主イベント「みよしものけものがりⅢ」
（平成29年11月26日開催）



三次地区拠点施設建設状況
（平成30年3月14日現在）

■ 三次町小路美装化事業（建設部）

住民の住環境向上のほか、三次地区拠点施設の完成により更に観光客の増加が予想されるため、町歩きのための観光資源として三次町の石畳通りから伸びる7路線の小路の美装化を進めています。

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

平成 28 年度は小路の設計及び道路境界の確認を行い、平成 29 年度は西江寺小路、鉄蔵小路の 2 路線の美装化工事と三次地区拠点施設から石畳通りまで観光客をいざなうための誘導路の設計を行いました。平成 30 年度は残る小路 5 路線と誘導路の美装化工事を行う予定です。

三次地区拠点施設から町歩きへいざなうよう整備を行うことで、商店街の活性化につながる石畳通りへの出店や小路を活用したイベントなどのにぎわいづくりも期待しています。



西江寺小路



鉄蔵小路

■ 町家再生創造拠点化事業（建設部）

平成 28 年度は地方創生加速化交付金、平成 29 年度は地方創生推進交付金を活用し、三次町の町家再生を通してまちの魅力を高め、にぎわいを創出するため、ワークショップを 2 回、講演会を 1 回開催しました。平成 28 年度から始まったこの事業のワークショップ参加をきっかけに、空き家を自ら購入し、改修して、平成 29 年度にはカフェを開店される方が生まれました。

平成 30 年度も三次町の町家で事業を始めたいという方などを対象にワークショップや講演会を行う予定です。参加される方の職業も様々であり、人と人がつながることでの化学反応（石畳通りへの出店に向けた動きなど）も期待し、はじめは 1 店舗の出店であっても、それが 2 店舗、3 店舗と増えることで面的な広がりをみせることをめざしています。



実際の町家を自分たちで改修してみる
DIYワークショップの様子



ワークショップ参加者の昼食交流会の様子

■ 鶺鴒伝統文化保存継承事業（地域振興部、教育委員会）

三次を代表する伝統文化である鶺鴒を次代に伝えていくため、関係団体の代表者が集まる「鶺鴒伝統文化保存継承連絡協議会」を開催しました。鶺鴒の環境整備として、病気になった鶺鴒を隔離するための鶺鴒小屋整備に補助をしました。

また、鵜匠の身分（賃金）補償や、舵子・船頭の賃金、餌代を含めた鵜の飼育環境整備について、関係者の意見を聞きながら見直しを行いました。



鵜飼伝統文化保存継承連絡会の様子



整備した鵜の飼育小屋

■ （新）神楽魅力アップ事業（地域振興部，教育委員会）

平成29年3月に市内の神楽団6団体が加入する「三次市観光振興神楽協議会」を設立し、各種イベント出演の助成を行いました。平成30年1月には、加入6団体が出演する「三次市神楽共演大会」を三次市観光協会と共催しました。



三次市神楽共演大会の様子

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
三次町歴史的地区 環境整備街路事業	13,156	国県支出金 7,428	5,728	修景補助件数(6件)
三次地区拠点整備 事業(ハード事業) 《下段：繰越明許分》	227,872	起債 227,800	72	住民説明の機会 計6回
	101,279	国県支出金 101,279		内訳：事業説明会5回，飲食出 店候補者募集説明会1回
三次地区拠点整備 事業(ソフト事業) 《下段：繰越明許分》	17,734	国県支出金 2,263	15,471	住民説明の機会 計43回
	19,556	その他 18,248	1,308	内訳：出前講座22回，連続講 座4回，自主イベント「みよ しものけものがたり」3回， 三次市妖怪を生かした文化・ 観光推進市民委員会7回，三 次地区の文化・観光まちづく りを進める会(全体会議)4 回，その他講演会・説明会等3 回
三次町小路美化装 化事業	15,854	国県支出金 15,500	354	小路2路線の工事 誘導路の設計
町家再生創造拠点 化事業	4,144	国県支出金 2,072	2,072	ワークショップ(2回) 講演会(1回)
鶴飼伝統文化保存 継承事業	20,171		20,171	鶴飼飼育小屋整備 1棟
神楽魅力アップ事 業	740		740	神楽共演大会来場者数 1,100人 神楽団への出演料助成 11件
計	420,506	374,590	45,916	

イ 観光資源を活かした集客力の向上

施策の概要

中国やまなみ街道が全線開通し2つの高速道路がクロスする拠点性、利便性を活かしながら、オール三次観光推進プロジェクトの戦略に基づき、事業を展開しました。

三次の魅力を感じてもらうため、観光施設の周遊と宿泊者の満足度向上などをめざして開始した「三次市観光宿泊・スポーツ合宿助成事業」は5年目となり、制度のPRを積極的に行うとともに、平成28年度からスポーツ・文化の合宿・大会については連泊も助成対象とし、宿泊客や観光消費額の増加に努めました。

また、「三次市観光キャンペーン実行委員会」が行うオール三次観光交流キャンペーン事業などにより観光PR、観光客誘致拡大などの活動を行うとともに、各観光協会に対する運営補助のほか、各種機関・団体などが開催する地域イベント・行事への運営補助を行い、観光振興を図りました。

施策の成果

中国やまなみ街道の全線開通と、全線開通に合わせて戦略的に酒屋地区に魅力ある施設を集結させることで、エリアの魅力を高め、目的地として選ばれるようになったことで、総観光客数は341万人と過去最高となり、多くの方に三次を訪れていただきました。

「三次市観光宿泊・スポーツ合宿助成事業」については、協賛施設に制度の周知について協力いただき、利用は15,465件と、昨年同様に多くの利用がありました。

オール三次観光交流キャンペーン事業では、三次ならではの食である「霧のまちのぐるめぐり」を活用したグルメスタンプラリーの実施や、三次観光イメージキャラクター「きりこちゃん」と県内の様々なイベントへ参加し、「みよし」の知名度アップにつなげていきました。

6月13日には、広島東洋カープ対オリックス・バファローズ戦を開催し、13,705人の来場者でにぎわいました。この試合にあわせて山陰からのカープ女子ツアーを造成し、山陰方面からの誘客と「スポーツのまちみよし」の認知度向上と三次ファンの拡大を図りました。

事務事業の実施状況

- 【オール三次観光・交流キャンペーン】三次市観光宿泊・スポーツ合宿助成事業（地域振興部）
宿泊施設と観光・土産施設またはスポーツ・文化施設でスタンプが押印されると、登録された協賛施設で1,000円のクーポン券として利用できる助成事業を行いました。
- 【オール三次観光・交流キャンペーン】オール三次観光・交流事業補助（地域振興部）
霧のまちのぐるめぐり認定店とみよし地産地消認定店をめぐる、「霧のまちぐるめぐりみよしグルメスタンプラリー」を行い、観光施設などの周遊促進を図りました。また、三次観光イメージキャラクター「きりこちゃん」のPRグッズを作成し、様々な場面でのPR活動を展開しました。さらには、三次市へのツアー商品に対する支援や送客に対する各旅行業者への支援事業を行いました。
- 【オール三次観光・交流キャンペーン】観光協会などへの運営補助（地域振興部）
各地域の観光協会などに対し、運営補助を行いました。
- 【オール三次観光・交流キャンペーン】地域イベントへの開催補助（地域振興部）
各種機関・団体などで構成する実行委員会が開催する地域イベント・行事に対し、開催補助を行

いました。

■ 【オール三次観光・交流キャンペーン】

三次市プロ野球公式戦開催実行委員会への支援
(地域振興部)

三次市プロ野球公式戦開催実行委員会が実施する2017年プロ野球公式戦「広島東洋カープ対オリックス・バファローズ」の事業に対し、支援を行いました。また、市民にプロ野球の観戦の機会を提供し、スポーツの振興と青少年の健全育成を図ることを目的として、マツダスタジアムの年間指定席を購入し、市民を対象に特別料金でチケットの販売を行いました。



2017年プロ野球公式戦

■ 川とのふれあい事業(地域振興部, 作木支所)

江の川カーヌー公園さくぎの機能を補完する付属施設として、入浴施設の整備工事を行いました。また、情報発信を行うため、パンフレットなどを作成しました。



江の川カーヌー公園さくぎ入浴施設

■ (新) 道の駅ゆめランド布野改修事業(地域振興部, 布野支所)

レストラン利用客の増加と利便性向上のため、客席スペースの拡大工事を行いました。また、道の駅が布野町の農業振興や地域交流の拠点として継続していくよう、アクションプランの策定を行いました。

■ みよし田舎ツーリズム協議会活動補助(地域振興部)

三次市の持つ田舎ならではの地域資源を活用した都市住民との交流や田舎ツーリズムを促進する協議会の活動を支援しました。協議会の取組を紹介したパンフレット「三次いなか旅」をリニューアルしたほか、コテージなどの宿泊施設を中心にワーキング会議を開催し、3泊4日の体験プログラムの開発を行いました。協議会の会員は住民自治組織5団体と5法人、農家民宿9軒が加入し、地域活性化と三次市での田舎体験による交流を進めています。



みよし田舎ツーリズム協議会ワーキング会議

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
三次市観光宿泊・スポーツ合宿助成事業	17,584		17,584	クーポン利用 15,465 件 パンフレット作成 30,000 部
オール三次観光・交流事業補助	28,037		28,037	総観光客数 341 万人
観光推進事業補助	42,075		42,075	観光協会(5団体) 32,835 千円 全市的イベント 9,240 千円
地域イベント開催補助	15,282		15,282	13 事業
プロ野球公式戦開催実行委員会負担金	2,531		2,531	プロ野球公式戦来場者数 13,705 人 マツダスタジアム年間指定席 22 席
川とのふれあい事業 《下段：線越明許分》	14,575	起債 14,000	575	受水槽設置工事 外構工事ほか
	113,471	国県支出金 55,253 起債 25,000 その他 25,000	8,218	設計監理業務、入浴施設新築工事 パンフレット、チラシ作成など
道の駅ゆめランド布野改修事業	40,810	起債 40,000	810	レストラン増床工事ほか
みよし田舎ツーリズム協議会活動補助	500		500	【加入団体数】 農家民宿 9(新規1) 自治組織 5 法人 5
計	274,865	159,253	115,612	

ウ 観光推進の組織づくり・情報発信機能の強化

施策の概要

入込観光客を増やすため、テレビ番組の放映や旅行雑誌への掲載などにより三次の観光をPRし、観光客誘致を図りました。本市が保有する豊かな観光資源と、各種機関・団体などが開催する地域イベントなどを、季節に応じて一体的に取りまとめ、旅行雑誌、新聞紙面などの広報媒体の活用や広島バスセンターへのポスター掲出、ホームページへの観光情報の掲載などにより、情報発信の強化に努めました。そのほか、「三次市観光公式サイト」のFacebookなどで常に旬な情報を提供できる体制づくりを行いました。また、三次観光における「稼ぐ力」と「交流」の創出をめざし、三次版DMOである「一般社団法人みよし観光まちづくり機構」を12月15日に設立しました。

施策の成果

中国やまなみ街道の全線開通の効果を最大限に活かすため、オール三次の観光戦略に基づき、岡山県や四国方面を中心に広報媒体の活用やPR活動を行いました。また、広島県内に向けては、3分間の三次市観光情報番組を制作し、46本放送しました。(うち6本再放送)

事務事業の実施状況

■ 【オール三次観光・交流キャンペーン】三次市広報番組やコマーシャルなどによる観光情報発信 (地域振興部)

本市の観光情報をお知らせする番組「みよし観光研究所」による情報発信を行うとともに、県内及び岡山県を中心にした三次市の観光PR用コマーシャルを放映しました。

また、夏季と秋季に新聞の1面広告を掲載し、三次の旬な観光情報を発信しました。

■ 【オール三次観光・交流キャンペーン】三次市観光公式サイトへの更新 (地域振興部)

「三次市観光公式サイト」のコンテンツの作成を官民一体で行いました。また、FacebookやTwitterを活用し、旬な情報を提供しました。

■ 【オール三次観光・交流キャンペーン】みよしKINSAIイルミネーション2017 (地域振興部)



三次駅前イルミネーションで装飾を施し、冬の三次への誘客とおもてなしの向上を図りました。

三次駅前のイルミネーション

■ 【オール三次観光・交流キャンペーン】ボランティアガイド養成講座 (地域振興部)

観光ボランティアガイドの新たな人材を発掘・育成するために、5年目となる三次市ボランティアガイド養成講座を行いました。



ボランティアガイド養成講座



ボランティアガイド養成講座 臨地研修（境港市）

■ 観光客実態調査事業（地域振興部）

観光客のニーズや満足度を把握するため、インターネットを活用したWEB調査を行いました。

■ 無料Wi-Fi事業（地域振興部）

外国人にも対応できる無料Wi-Fi（無料公衆無線LAN）として、HIROSHIMA Free Wi-Fiのアクセスポイントを江の川カヌー公園さくぎと広島三次ワイナリーに設置しました。

また、HIROSHIMA Free Wi-Fiを活用した情報発信を行いました。

■ 三次版DMO事業（政策部、地域振興部）

観光のマーケティングとプロモーション事業を行う三次版DMO「一般社団法人みよし観光まちづくり機構」を設立しました。三次の魅力を発信し、観光客の誘致と周遊を図るため、テレビの特別番組の制作・放映と、「湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）」の開館に向けたPRパンフレットの作成を行いました。

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
情報発信事業（観光PR強化）	18,884		18,884	テレビ放送 46回 CM放送 185回 中国新聞全面広告 2回
観光PR配布物作成事業	3,256		3,256	観光パンフレット 20,000部 観光パンフレット （ダイジェスト版）50,000部
オール三次観光・交流事業補助（ホームページ更新）	1,956		1,956	記事掲載 299件 Facebook「いいね」件数 2,206件 セキュリティ対策強化
オール三次観光・交流事業補助（イルミネーション）	2,517		2,517	11月25日～2月14日まで 82日間
オール三次観光・交流事業補助（ガイド養成講座）	140		140	全8回 受講者数 11人
観光客実態調査事業	3,000	国県支出金 1,500	1,500	WEB調査
無料Wi-Fi事業	2,259		2,259	設置箇所 2箇所 ささっとパンフ
三次版DMO事業	12,551	国県支出金 6,275	6,275	（一社）みよし観光まちづくり 機構設立 12月15日 テレビ特別番組 1回 パンフレット作成 10,000部
計	44,563	7,775	36,788	

(5) 定住・交流 ～ちょうどいい田舎まち～

ア 定住のまちづくり

イ 交流の推進

施策の概要

定住対策事業として、本市の充実した子育て・教育環境、医療体制などの紹介とあわせ、U・I・Jターンを促す移住支援情報を市内外に向けて発信しました。また、移住希望者へは集落支援員や地域ネットワークと連携し、空き家情報バンク登録物件の紹介や、広島県などと連携して定住相談会を実施するなど、三次市で暮らす新たなライフスタイルを提案しています。

施策の成果

広島県交流・定住促進協議会やふるさと回帰支援センターが主催する大都市圏での定住フェアに参加し、相談を受けるとともに、Uターンに特化した取組として、「帰ろうコール 2017」と題して三次市の「仕事」「女性活躍」をキーワードにした定住促進チラシの配布、また、ラジオや新聞、移住専門誌への記事掲載などメディアを通じて本市の優れた住環境を広く発信しました。若者の移住対策としては、3月に広島市において大学合同就職説明会を開催し、市内企業と大学生のマッチングを図りました。



帰ろうコール2017 ちらし

移住者の住宅取得などについては、各種の支援策を用意するとともに、みらさか土地区画整備事業と連携してPRを行いました。ふるさと納税は寄附件数を伸ばすために、WEB画面の商品画像の見栄えの改善

や都市部で新聞広告を掲載するなどの取組を行いました。返礼率の見直しが響き、寄附額は減少しています。地域おこし協力隊は新たに3人を任命し、農業支援や物怪を中心に広くアピールする活動を通じて、地場産業振興や観光振興をサポートしています。また、三次市ふるさとサポーターの登録者も増えたことから、首都圏で交流会を実施し、三次にゆかりのある方と交流を深めました。

事務事業の実施状況

■ 【定住対策事業】空き家情報バンク事業（地域振興部）

市内の空き家（新規登録 27 件）を登録しホームページなどで紹介しています。市外在住の利用希望者から相談（302 件）があり、23 件の現地案内を行った結果、10 件 20 人が移住されました。

■ 【定住対策事業】空き家購入サポート事業（地域振興部）

三次市の空き家情報バンク制度を通して物件を購入し、定住のために改修する場合、改修費用の一部を補助する事業を行い、1 件交付しました。

■ 【定住対策事業】Uターン者住宅改修事業（地域振興部）

実家の所有者がUターン者のために自家を改修する場合、改修費用の一部を助成する事業を行う

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

もので、17件交付しました。また、平成28年度から始めた家業を継ぐ場合の店舗改修費用の一部を助成する事業には1件交付しました。

■ 【定住対策事業】移住者住宅取得支援事業（地域振興部）

転入して3年未満の移住者又は移住希望者が市内に住宅を新築した場合の費用に対して、また、中古物件を購入した場合は購入費用若しくは住宅の改修費用に対して一部を補助する事業で34件交付しました。

■ 【定住対策事業】宅地購入・新築奨励金交付事業（地域振興部）

U・I・Jターナー者が市内に住宅を新築し、他の事業の要件に該当しない場合に家屋の固定資産税相当額を5年間助成する奨励金交付事業を行い、42件交付しました。（うち新規申請件数5件）

■ 定住相談事業（地域振興部）

広島県交流・定住促進協議会やふるさと回帰支援センターが主催する定住相談会に参加し、田舎暮らしに関心のある人に三次市の魅力を伝えるとともに、空き家情報バンクをはじめとする住まいや子育て、医療などの相談対応・情報提供を行いました。

また、広島県と共催で移住セミナーを行い、三次市で新しいビジネスに関わる人材の募集も行い、24人が参加されました。大学合同就職説明会では、市内企業に就職を希望する8人の学生が集まり、参加した13社とのマッチングを図りました。



都市圏での定住相談会



移住セミナーの様子



大学合同就職説明会

■ 情報発信（地域振興部）

地域版定住パンフレットを作成し、各地域の特徴のPRに努めました。6月・9月・12月には「三次へ帰ろうコール」のチラシを作成し、広報みよしとともに全世帯へ配布しました。また、ラジオを活用して三次市の定住施策や、移住者の声を発信しました。

■ 田舎体験ツアー（地域振興部）

三次市に移住を検討（希望）する方を対象に「ちょうどいい田舎まち」を体験していただくため、アスパラの収穫体験や田舎料理作りを通じて地域住民との交流、三次市の空き家情報や三良坂の分譲地、モデルハウスの見学などの体験型ツアーを行い、5家族、9人が参加されました。



田舎体験ツアー

■ ふるさと納税（地域振興部）

ふるさと応援寄附金の取組にあたり、お礼のふるさと産品の種類を増やし充実させるとともに、雑誌や新聞への広告のほか、三次市ふるさとサポーターや県外の同窓会などへもチラシを直接送付

して、ふるさと納税を呼びかけました。4月に総務省からの通知により、返礼率を改善することとなり、三次市では9月1日から返礼率を3割以下に見直したところ、寄附件数が前年比3分の1程度に落ち込み、年間でも前年の53%程度まで落ち込む結果となりました。

■ 新たな婚活事業（地域振興部）

企業の枠を越えた仲間づくりと男女の出会いの場の提供というコンセプトで交流事業を行いました。三次市雇用労働対策協議会の会員企業から推薦いただいた実行委員が企画・運営を行い、4回の交流イベントに延べ199人が参加され、多くの交流を行うことができました。

また、結婚支援グループの活動に対して結婚コーディネーター事業補助金を交付し、取組を支援しました。3回行われたイベントに男女計55人が参加されました。



企業間交流事業の様子

■ 地域おこし協力隊事業（地域振興部）

地域おこし協力隊員を都市部から地域社会の新たな担い手として受け入れ、ヨソモノ、ワカモノの新たな視点により地域の活性化を図る取組を行いました。

平成29年度は、新たに3人を任命しました。そのうち2人は農業協力隊として、三次ピオーネ生産支援と酪農支援を担い、もう1人は、物怪の情報発信を中心とした観光支援の活動をしています。活動のPRとして、9月と3月に市民も参加しての地域おこし協力隊の活動報告会を開催しました。また、それぞれの隊員はSNSなどを利用して三次での活動を広く発信しています。

■ ひろしま里山ウェーブ拡大プロジェクト事業（地域振興部）

地域貢献に高い意欲を持つ首都圏の方と連携する県の事業を継続し、三次市の首都圏でのPRやメンバーによる三次の事業連携を行いました。主に定期的な三次の認知度を上げるスナックイベントの開催や、三次町のエリアリノベーションへの参加、義士祭の時期に合わせて三次市ふるさとサポーター登録促進の活動などを行いました。また、広島市内においても妖怪をテーマにした三次スナックによる交流会も実施しました。

■ 三次市ふるさとサポーター事業（地域振興部）

三次市の魅力を全国に発信し、全国各地から三次市を応援していただくために、三次市出身者やゆかりのある方、また、三次市に関心がある方に呼びかけて登録をしていただきました。会員には年2回会報を発行しました。首都圏の登録者が多いことから、東京で交流会を実施し、参加者と交流を深めることができました。（登録者数：615人）



東京三次交流会の様子

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

■ お試し暮らし住宅（地域振興部）

移住希望者が三次市への移住を前提とした住まいや仕事探し、生活体験などで安価に利用できる滞在施設を提供し、移住促進を図りました。1件の申請があり、2人の方に利用していただきました。

（単位：千円）

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
空き家情報バンク事業	137	その他 137		新規登録件数 27件 現地案内件数 23件 移住件数 10件
空き家購入サポート事業	1,467	その他 1,467		1世帯1人 (うち小学生以下0人)
Uターン者住宅改修事業	16,795	その他 16,795		18世帯40人 (うち小学生以下10人)
移住者住宅取得支援事業	32,048	その他 25,000	7,048	34世帯89人 (うち小学生以下24人)
宅地購入・新築奨励金 交付事業	2,730		2,730	交付件数 42件 (新規申請件数5件)
定住相談事業	1,044		1,044	相談件数 44件 相談者数 57人
情報発信（パンフレット・チラシ・雑誌・新聞・ラジオ）	10,896	その他 9,909	987	雑誌広告 5種 帰ろうコールチラシ 25,000×3部 チラシ 48,000部
田舎体験ツアー	108		108	参加者 5家族9人
ふるさと納税	26,955		26,955	寄附件数 3,315件 寄附金額 50,010千円
新たな婚活事業 (企業間交流事業)	503	その他 386	117	イベント参加者 199人
新たな婚活事業 (結婚コーディネーター補助金)	253	その他 253		婚活活動補助(55人参加・マッチング11組)
地域おこし協力隊事業 (募集・活動経費)	44,362		44,362	12人 (平成29年度3人増)
ひろしま里山ウェーブ拡大プロジェクト事業	107		107	交流事業回数 5回 延べ参加者 約108人
三次市ふるさとサポーター事業	716		716	登録者数 615人
お試し暮らし住宅	54		54	利用件数 1件
計	138,175	53,947	84,228	